

施工前の注意事項

- ・施工前に安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
- ・注意事項は安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・施工後は正常に動作することを確認してください。



……「注意」この指示を無視して誤った取扱をすると、
障害または、物的損害が発生する可能性があります。



……このマークは、「接触禁止」の内容です。



……このマークは、してはいけない「禁止」の内容です。



……このマークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。



……このマークは、「分解禁止」の内容です。

⚠ 取付に関する注意

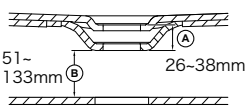
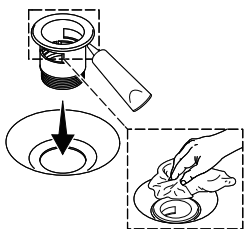
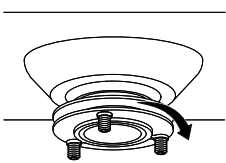
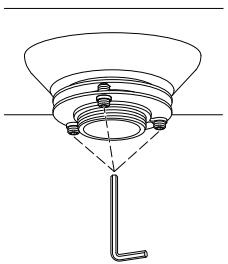
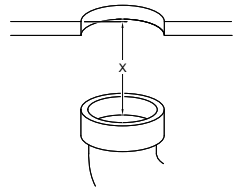
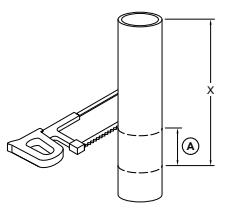
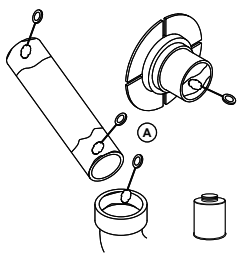
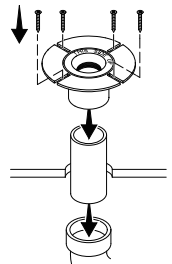
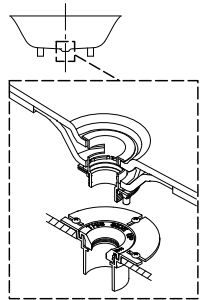
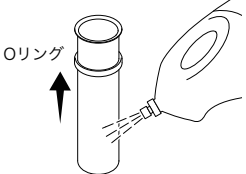
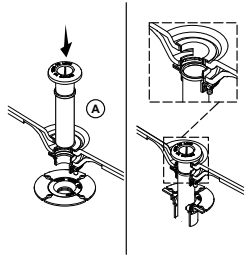
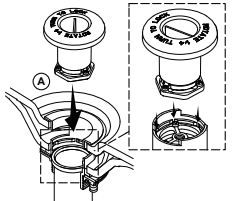
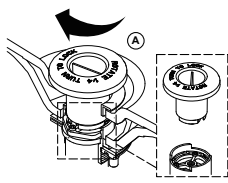
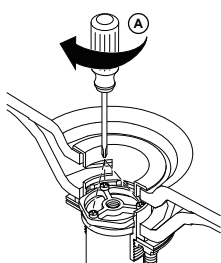
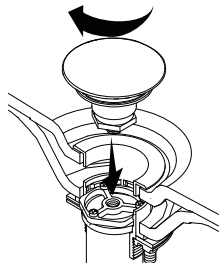
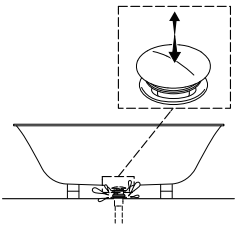
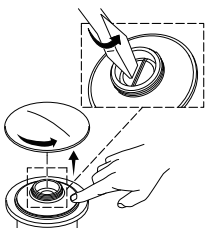
	施工・交換・移設は、必ず専門の配管工事業者に 依頼してください。誤った施工は、落下・漏水・ 壁の破損の原因となります。		この排水口は、オーバーロウが一体となった浴槽に設 置するように設計されています。
	フランジに正しく固定されていません。設置後に真鍮パイ プを取り外す必要がある場合は、浴槽を移動してシールが フランジに正しく固定されていることを確認するまで、パ イプを再設置しないでください。		

⚠ 使用に関する注意

	既設配管内のゴミや砂を十分にフラッシングしてか ら接続してください。異物が残っていると、目詰まりや 漏水の原因となります。		シンナー・塗料・強酸／強アルカリの薬品などを長時 間ためたり放置したりしないでください。表面仕上げ の劣化や変色の原因となります。
--	---	--	---

必要工具および現場手配品



⚠ 警告: 人的傷害または物的損害の危険があります。 不注意に取り扱っていると、製品が破損したり、欠けたり、怪我をする可能性があります。 フランジに正しく固定されていません。設置後に真鍮パイプを取り外す必要がある場合は、浴槽を移動してシールがフランジに正しく固定されていることを確認するまで、パイプを再設置しないでください。 地域の配管および建築の規則をすべて遵守してください。	1 寸法の確認 一体型オーバーフローを取り付けた浴槽排水口の厚さは、26～38mmの範囲でなければなりません。 一体型オーバーフローの底部から仕上げ床までの距離は、51～133mmの範囲でなければなりません。 	2 シーンラントの塗布 排水本体の上部フランジの下に100%シリコンシーラントを塗布します。余分なシーラントは拭き取ってください。 	3 ナットの仮留め ナットを均等に締めるため、一度ナットを手で締めてください。 	
4 止めネジの固定 六角レンチを使用して止めネジを均等に締めます。 	5 取付位置の確認 床面からPトラップの内側の棚までの寸法「X」を測定します。 	6 パイプの調整 5で測った寸法「X」から19mmを差し引いてPVCパイプを切断します。 	7 接着剤の塗布 PVCパイプの外側の端、フランジの内側、およびPトラップの内側にPVCプライマー及び接着剤を塗布します。 	8 フランジの固定 フランジとPVCパイプ、Pトラップをそれぞれを固定してください。 
9 排水管の取付 浴槽の排水口を排水管に合わせます。 	10 Oリングの取付 真鍮管に液体食器用洗剤などの潤滑剤を塗布し、Oリングを差し込みます。 	11 真鍮管の取付 ツールを使用して真鍮管を排水本体に、完全に押し込みます。 	12 リングの取付 工具を使ってリングを排水口本体に挿入します。リングを排水口本体の溝に合わせます 	工具を1/4回転させてリングをロックします。工具を取り外します。 
13 リングの固定 3本のネジを締めて固定してください。 	14 排水目皿の取付 リングに排水目皿を取付けてください。 	15 水漏れの確認 排水目皿を押しして排水機能をテストします。浴槽に水を入れ、水漏れがないか確認します。 	16 排水金具の取外し 指でシールを押さえて排水目皿を外します。マイナスドライバーを使って排水金具を取り外します。 	17 排水の調整 排水が正常に行われるよう、ナットを締める、または緩めて調整してください。 